

編集後記

学会誌編集委員を務めてさせてもらい、早いもので1年と11カ月が経過しました。編集委員の主な仕事は、学会誌記事の企画提案を行うことです。テーマの選定にあたっては、専門外の方にも興味を持ってもらえるように、また過去の企画と重複しないようにと頭を悩ませました。そこで学会誌を山のように積み上げ過去の企画記事を読んでいくと、プラ核学会誌が如何に充実した学術誌であるかに今さらながら気づきました。素粒子物理から統計物理、生物応用から核融合研究までその対象は多岐に亘り、それがプラズマ科学と言う切り口から実にわかりやすく解説されている、これらはプラズマ科学に携わる多くの方が積み重ねてきた大変貴重な財産であると思います。現在、学会誌の財政状況改善のため、隔月発行やページ数削減も含めて様々な検討が進められていますが、今後とも充実した学会誌を読むことを願っております。私が担当した最後の企画記事は現在最終校正の段階にあり、多くの方に興味を持ってもらえるといいなあと思いつつ一安心していたら、忘れていた

最後の仕事（本原稿）を催促するメールを受け取ったところです。紙面もあまり残っておりませんので、最近のプチ成功体験を紹介させていただきます。

一日の最後に晩酌を楽しむ習慣のためか腹囲が緩やかな増加傾向にあり、ここ数年様々な簡易ダイエット法（走ったりお金をかけたりしない）をトライしています。これまでトライしたのは、血糖値を保つようこまめに食べる、米から蕎麦・うどんにする、つまみをサラダにする等々。どれも目立った成果は得られず、通勤以外動かない生活ではアルコール性腹囲成長の抑制は無理か、と半ばギブアップしていました。最近本屋で立ち読みしたのが飢餓ホルモン法（だったか？）、空腹状態をできるだけ長く保てばいいそうです。ビールを我慢したり、ジョギングするのに比べれば圧倒的に楽ちんです。意外にも結果は良好で、昔のズボンも入るようになり、妻からの週一禁酒令も解除されるに至りました。これから晩酌のいい季節になるので楽しみです。

(中村龍史)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	小川 雄一	副 会 長	斧 高一 二宮 博正	常務理事	西村 新 (総務委員長)
理 事	疇地 宏 (企画委員長) 上杉 喜彦 坂本 慶司 (広報委員長) 永津 雅章 山崎 耕造 (編集委員長)		石原 修 甲斐 俊也 笹尾眞實子 (プログラム委員長) 林 康明 (出版委員長) 米田 仁紀 中澤 一郎		伊藤 早苗 小森 彰夫 清水 克祐 (財務委員長) 堀池 寛 (広告委員長)
監 事	飯尾 俊二				

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター：山崎耕造(名大)

エディター：安藤晃(東北大)、坂本瑞樹(筑波大)、中村祐司(京大)、村上匡且(阪大)、室賀健夫(核融合研)、佐々木浩一(北大)

編集委員：秋山毅志(核融合研)、伊藤剛仁(阪大)、今井 誠(京大)、大原 渡(山口大)、岡本 敦(東北大)、片山一成(九大)、菊池崇志(長岡技科大)、熊谷 晃(関ジェイ・イー・ティー)、古賀麻由子(兵庫県立大)、後藤拓也(核融合研)、小林進二(京大)、近藤正聡(東海大)、佐竹真介(核融合研)、佐藤正泰(原子力機構)、三瓶明希夫(京都工繊大)、柴垣寛治(鈴鹿高専)、杉山貴彦(名大)、曾我之泰(金沢大)、田代真一(阪大)、田中将裕(核融合研)、中村龍史(原子力機構)、廣瀬貴規(原子力機構)、福山隆雄(愛媛大)、藤澤彰英(九大)、村中崇信(中京大)、山家清之(新潟大)、吉沼幹朗(核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第88巻第6号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階

一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/

印刷 株式会社荒川印刷

2012年(平成24年)6月25日

定価1,365円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月第1火曜日に開かれています。但し、都合により変更になる場合があります。